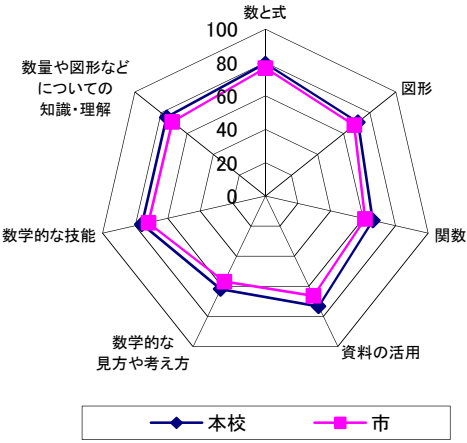


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	79.4	76.7	72.6
	図形	70.9	68.1	63.8
	関数	66.0	61.2	54.4
	資料の活用	73.3	66.3	55.4
観点別	数学的な見方や考え方	61.8	56.8	50.8
	数学的な技能	75.9	71.9	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	75.7	71.4	63.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は、いずれの問題も市の正答率より高い。 ○分配法則、乗法公式、方程式などの基本的な計算はよくできている。 ●平方根の計算に苦手意識を感じている生徒が多い。 ●解き方を説明する問題ができていない。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・基本的な計算は定着しているので、さらに早く正確に解く練習を実施する。 ・説明する力をつけるために、授業の中で式のたて方や式の意味を問いかける場面を積極的に取り入れる。
図形	平均正答率は、いずれの問題も市の正答率より高い。 ○ねじれの位置や円周角といった図形の基本はよくできている。 ●証明問題を苦手としている。照明の手順の定着が図れていない。	・角度を求める問題などは、発展的な内容にも取り組ませる。 ・照明に必要な定義、定理、図形の性質の定着に向けて繰り返し練習していく。 ・照明の穴埋めプリントを作成して、どのように証明をしていけばよいのか道筋を明確にする。
関数	平均正答率は、いずれの問題も市の正答率より高い。 ○式の表し方、変域の求め方はよくできている。 ●文章問題から場面設定を読み取り、グラフの交点の座標を求める問題などができていない生徒が多い。文章から数量の関係を明確に把握できないことが原因と思われる。	・文章問題を場面ごとに分けたり、数量関係を図を用いて表したりするなど、できるだけ丁寧な授業展開を心がける。 ・基本問題から応用問題まで類題別に用意をし、個に応じた学習が学習ができるようにする。
資料の活用	平均正答率は、いずれの問題も市の正答率より高い。 ○確率の求め方はよくできている。樹形図などを効果的に活用できている。 ●度数分布表から、階級の相対度数を求める問題の正答率がやや低い。	・多角的なものの見方を身に付けられるよう、様々な問題を取り上げる。 ・図や表を読み取る活動を積極的に取り入れる。